



東北大学総合学術博物館 企画展

追悼・北杜夫



TOHOKU UNIVERSITY

どくとる マンボウ 昆虫展



2012年4月28日 | 土 | ▶ 6月17日 | 日 |

東北大学総合学術博物館 (理学部自然史標本館)

主催：日本昆虫協会、日本アンリ・ファーブル会、東北大学総合学術博物館

協力：軽井沢高原文庫、世田谷文学館、東北大学史料館、東北大学附属図書館医学分館





松本高校時代 娘の由香さんと(2008年)

東北大学医学部出身の作家である「どくとるマンボウ」こと故・北杜夫氏は、幼少の頃から昆虫採集に傾倒し、その著作にも数多くの昆虫を登場させてきました。中でも氏自身の昆虫にまつわる体験や観察をもとに描かれたエッセイ「どくとるマンボウ昆虫記(1961年)」には、チョウ・トンボ・バッタからノミ・シラミに至るまで185種もの虫たちが現れます。昆虫に対する深い洞察と愛情、独自の自然観をユーモアたっぷりに著した文章は、現在も子どもから大人まで広く親しまれています。今回の企画展「追悼・北杜夫 どくとるマンボウ昆虫展@東北大学」は、2011年10月に84歳で死去した北杜夫氏

への追悼の思いを込めながら、「どくとるマンボウ昆虫記」に登場する昆虫のほぼ全種類(185種中183種)を氏の文章とともに展示します。氏自らが採集した標本や、実際に使用していた採集用具もあわせて紹介します。また、「どくとるマンボウ青春記」にえがかれた東北大学や仙台のようすがわかる展示も行います。氏の面影を感じつつ、氏が愛した昆虫たちの世界にふれてみてください。



▲北杜夫氏の著作

北杜夫氏自身が採集した標本。「どくとるマンボウ青春記」の一節にある、父茂吉が作歌している傍で観察した狩獵蜂など。▶



企画展「追悼・北杜夫 どくとるマンボウ昆虫展@東北大学」 東北大学総合学術博物館(東北大学理学部自然史標本館)

●交通

- (1) 仙台市営バス：JR 仙台駅西口バスプール9番のりばより、「青葉通・理・工学部・仙台城跡南経由 動物公園循環(719系統)」に乗り、「理学部自然史標本館前」で下車。徒歩1分。所要約20分。または同じく9番のりばより、「宮教大」行きか「青葉台」行き、「成田山」行き(710・713・715系統)に乗り、「情報科学研究科前」で下車。徒歩4分。所要約25分。
- (2) 仙台観光シティーバス「るーぶる仙台」：JR 仙台駅西口バスプール15-3番のりばより乗車。「理学部自然史標本館前」で下車。所要約30分。
- (3) 自家用車：東北自動車道仙台宮城インターチェンジより仙台市街方面へ向かい、仙台西道路青葉トンネルを出て右折2回、大橋を渡る。駐車場有。

●開館時間

10:00 ~ 16:00

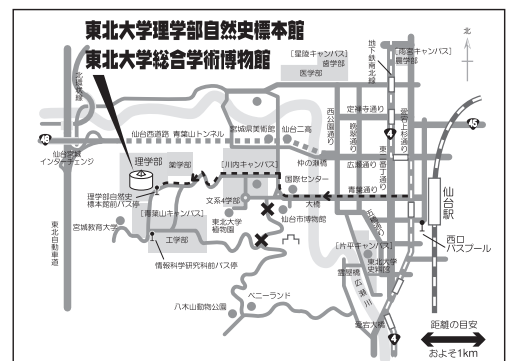
●開催期間中の休館日

5/1, 5/7, 5/14, 5/21, 5/28, 6/4, 6/11

●入館料

大人 150円(団体 120円)、小中学生 80円(団体 60円)

※団体は20名以上。



◇お問い合わせ

〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
TEL/FAX 022-795-6767
<http://www.museum.tohoku.ac.jp/>